

ハイパーターミナルからのテキスト出力のキャプチャ

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[正しい端末設定の使用](#)

[ルータ出力のキャプチャ](#)

[Break 信号の送信](#)

[HyperTerminal Xmodem を使用した Cisco IOS ソフトウェア イメージの送信](#)

[関連情報](#)

概要

Microsoft HyperTerminal は、最もよく使われているターミナル エミュレータ プログラムの 1 つです。このドキュメントでは、シスコ ルータで HyperTerminal のいくつかの機能を使用する方法を説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、「[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)」を参照してください。

正しい端末設定の使用

HyperTerminal に表示される文字が文字化けしている場合や、ルータがキーストロークを受け入れない場合は、HyperTerminal の設定に問題があることが考えられます。ルータは通常、デフォルト設定を使用します。

HyperTerminal でのデフォルト設定を構成する方法については、[コンソール接続のための正しい端末エミュレータ設定値の適用](#)を参照してください。

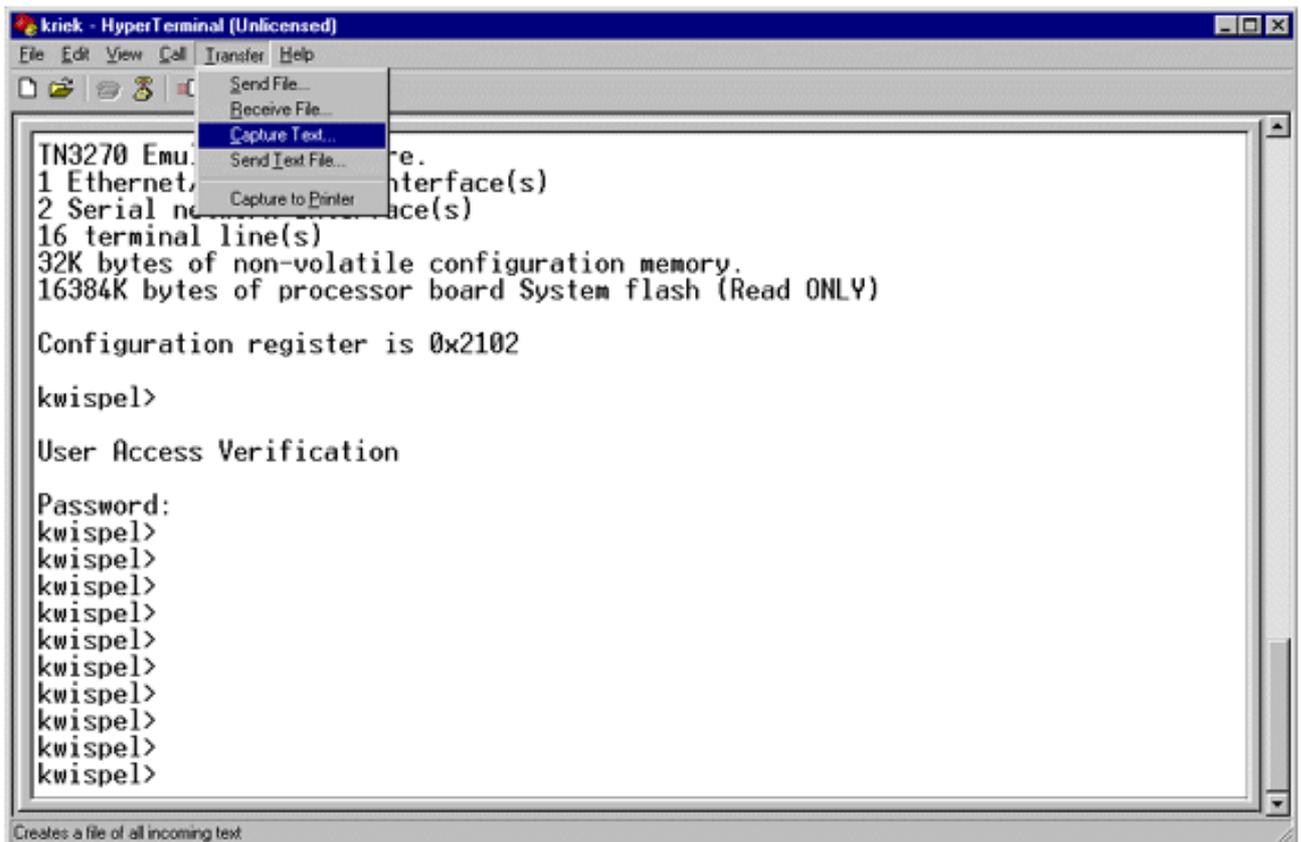
デフォルト設定で結果が改善されない場合は、ルータが標準以外の設定を使用するように設定されている可能性が考えられます。それを確認するには、有効なプロンプトが表示されるまで、速度を変えて接続してみます。

速度を変えても有効なプロンプトが表示されない場合は、ルータがハング状態になっている可能性が考えられます。問題を解決するには、[ルータ ハングのトラブルシューティング](#)を参照してください。

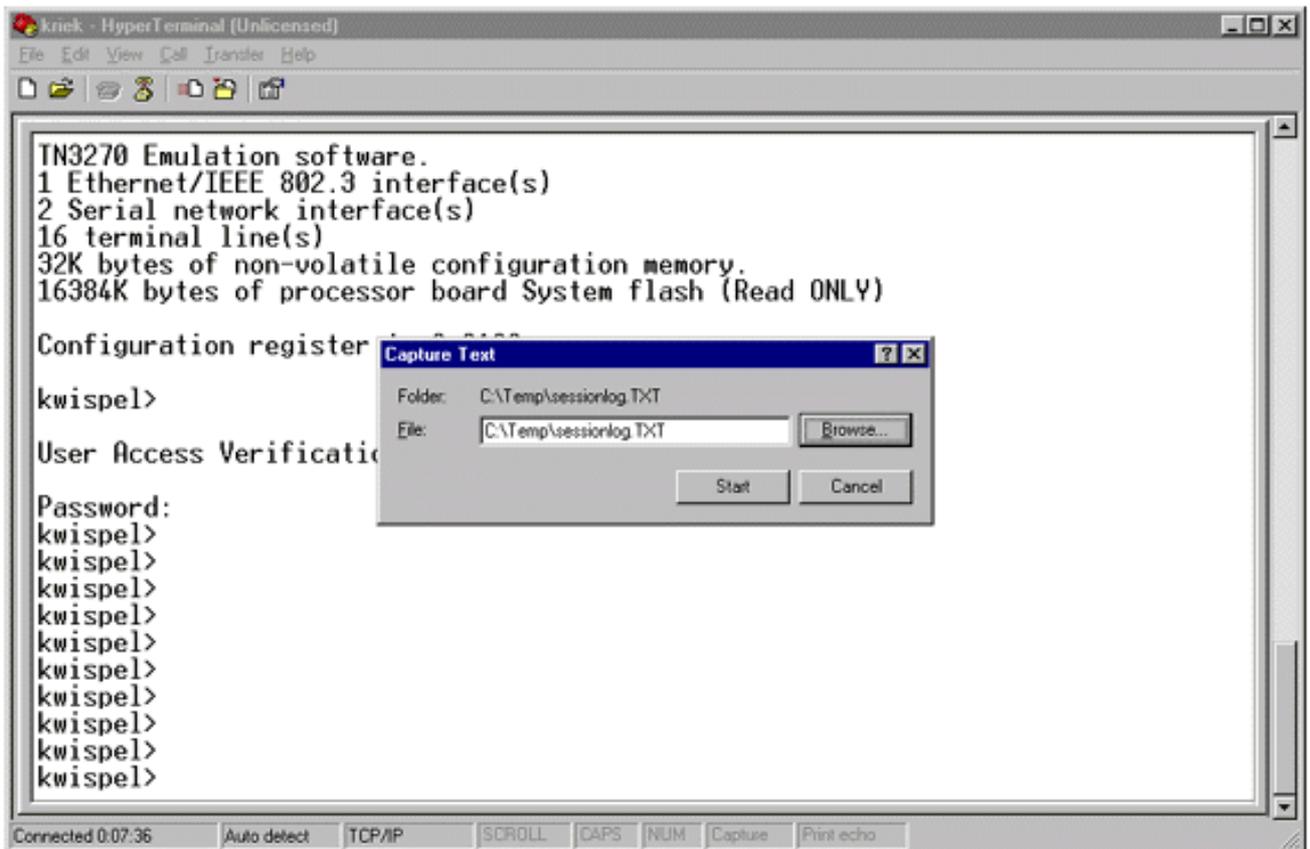
ルータ出力のキャプチャ

show コマンド (たとえば、show tech-support コマンド) またはルータ デバッグの詳細な出力は、コピー アンド ペーストを使用するだけではキャプチャできません。代わりに、ここで説明するように HyperTerminal の [テキストのキャプチャ (Capture Text)] オプションを使用します。

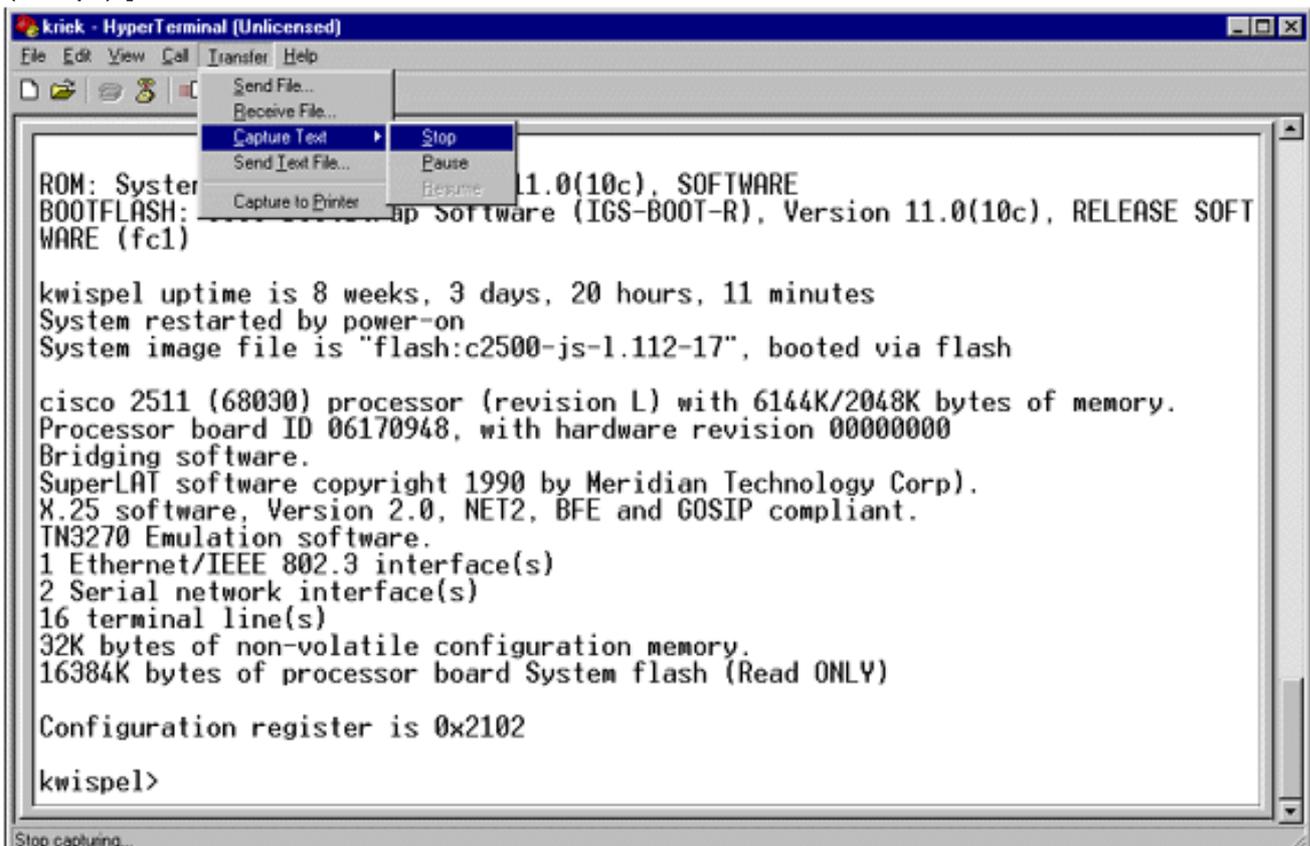
1. HyperTerminal プログラムのメニューバーから [転送 (Transfer)] を選択し、プルダウン メニューから [テキストのキャプチャ (Capture Text)] オプションを選択します。



2. 表示されるダイアログボックスに、エンジニアに送信するファイルの名前を入力します。 [開始 (Start)] をクリックします。



3. router# `terminal length 0` コマンドを入力します。[terminal length コマンドを使用すると、画面ごとにスペースバーを押さなくてもコンソールがスクロールされるようになります。](#)
 注：[show tech-support](#) コマンドの場合、「terminal length 0」はデフォルトでオンになっています。
4. エンジニアから指示されたコマンド ([show interfaces コマンドなど](#)) を実行します。
5. コマンドが完了したら、[テキストのキャプチャ (Capture Text)] サブメニューから [停止 (Stop)] オプションを選択します。



6. 必要なだけテキストをキャプチャするまで、ステップ 1 ~ 5 を繰り返します。新しく作成されたファイルをそのまま電子メールに添付してし、シスコのサポート担当者へ送信します。
注：端子長を毎回ゼロに設定する必要はありません。ターミナル長の設定は、別の値が手動で設定されるまでゼロのままになります。
7. `router# terminal length 24` コマンドを入力します。これにより、全画面が表示された後にコンソールが一時停止して、出力を読めるようになります。

Break 信号の送信

パスワードを回復する場合、またはルータ ハングやブートの問題をトラブルシューティングする場合は、ルータに Break 信号を送信します。HyperTerminal の場合、CTRL-Break キーまたは CTRL-F6 Break キー シーケンスで Break 信号を送信できます。使用できるその他のキーの組み合わせについては、[標準の Break キー シーケンスの組み合わせ](#)を参照してください。

ルータが Break キーを受け入れない場合は、[標準の Break キー シーケンスの組み合わせに関するドキュメントに記載されている](#)トラブルシューティングのヒントと Break キー シーケンスのシミュレーション方法のセクションを注意深く読んでください。

HyperTerminal Xmodem を使用した Cisco IOS ソフトウェア イメージの送信

何らかの理由（たとえば、起動が失敗する場合）でコンソール ポートから Cisco IOS® ソフトウェア イメージをインストールする必要がある場合は、Xmodem 転送を使用できます。詳細なステップバイステップ手順については、[ROMMON を使用した X-modem のコンソール ダウンロード手順](#)を参照してください。

関連情報

- [パスワード復旧中の標準的なブレイク キー シーケンスの組み合わせ](#)
- [コンソール接続のための正しい端末エミュレータ設定値の適用](#)
- [ROMMON を使用した X-modem のコンソール ダウンロード手順](#)
- [ソフトウェア コンフィギュレーション レジスタ](#)
- [Password Recovery Procedures](#)
- [ルータ ハングに関するトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)